

取り付けをする前に必ずお読みください。

- 取扱説明書やパッケージに記載されている警告や注意、指示等に反したご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を一切負いかねます。
- この取扱説明書は大切に保管してください。本製品自体や本製品を取り付けた車両を他者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書もお渡しください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性に結びつく場合を示しています。

- 製品包装のビニール袋等は、子供や幼児が遊んだり、食べたりしないよう、手の届かないところにおいてください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し、安全な場所に停止して、異常箇所の点検を行ってください。
- 使用する際には厚手の冬用グローブを必ずご使用ください。
- 125CC以下の車両のような発電容量が低い車両への取り付けには十分ご注意ください。充電不足になってしまい、バッテリートラブルを引き起こすことがあります。また、長時間の暖機運転を行うとバッテリーを消費してしまい、商品が正常に作動しなかったり、バッテリー上がりを起こしてしまう可能性があります。
- 取扱説明書やパッケージの注意事項や内容、警告を無視して使用し、重大な事故や損害が発生した場合、弊社は賠償等の責任を一切負いかねます。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生に結びつく場合を示しています。

- 12V専用** 本製品は12V専用です。それ以外の電圧の車両には使用しないでください。
- ハンドル径22.2mm専用** 本製品はφ22.2mmのハンドル専用で、それ以外の径のハンドルへは装着できません。
- 濡れ手作業禁止** 取り付け作業時は、濡れ手での作業はしないでください。感電する可能性があります。
- 強い圧力でのねじ込み禁止** 強い力を加えてヒートグリップをねじ込んでハンドルバーへ装着することや、ハンマー等を用いてヒートグリップをハンドルバーへ装着することはやめてください。グリップヒーター内部の電熱線を痛めてしまい、断線してしまう可能性があります。また、本製品を一度耐熱グリップボンドを用いて装着後、純正グリップへの交換することもお控えください。こうした場合、保証の対象外になり、一切の保証ができかねますのでご注意ください。
- ワイヤリングの禁止** 使用時には、ワイヤリングは絶対に行わないでください。電熱線が断線する恐れがあります。
- 高レベルでの常時使用は行わない** レベル4、レベル5を常時使用するはお控えください。バッテリートラブルや低温やけどの恐れがありますので、急速発熱用としてご使用ください。

●本製品はオートバイに関する整備の一般的な知識及び技能を有する方(国家資格を持つ整備士)が取り付けを前提としております。それ以外の方が取り付けを行うと本書の通り取り付け整備をしても知識不足、技能不足で正しく取り付け整備ができない可能性があるため、トラブル、破損等の原因となることがあります。国家資格を持つ整備士または指定、認証工場へ取り付けを依頼してください。

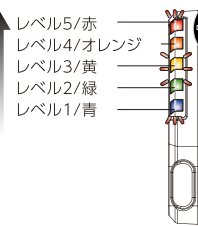
- 通電確認** 本製品を装着する前に、必ず本製品の通電確認を行い、ヒートグリップが温まることを確認してください。ハンドルバーへ装着後、断線等の不具合が生じてもご対応できかねます。(製品上の不具合は除く)
- バッテリーのマイナス端子を外す** 配線ミスによるショートを防ぐため、作業前に必ずバッテリーの⊖マイナス端子を外し、絶縁した上で作業してください。
- 車体アクセサリ電源を利用し、メインキーONの時だけ電源(12V)が通電する配線を使用してください。
- バイクの純正スロットルスリッパに滑り止めのリブが立っているものがあります。やすり等を用いて削り落としの上で、グリップヒーターを装着して下さい。
- 排気量125cc以下などの発電容量が低い車両の場合は、充電が不十分になりバッテリートラブルが発生する可能性があります。発電容量が低い車両に使用するには、レベル3以下でご使用ください。
- 走行前にスロットルの作動確認** スロットルが正常に作動するかどうか、手を離れた状態でスロットルが全閉まで戻ることを確認してください。
- 本製品を取り付けることで、車両側の取り付け面にキズや塗装の剥がれが起こる場合があります。また、部品を脱着する際には、塗装面への傷付きに注意して作業してください。
- 走行前には、必ず各部の点検を行い、定期的にグリップの接着状態の点検を行なってください。ヒートグリップの熱影響、接着剤の経年変化、汚れ落とし不十分等により接着が不十分な場合、グリップが抜ける可能性があります。
- ヒートグリップのスイッチ操作はエンジン始動後に行なってください。エンジン停止時にヒートグリップを使用するとバッテリーの消耗が早まってしまいます。
- 本製品は消耗品です。グリップ表面にキズ、すり減り、欠け、亀裂等がある場合、ヒートグリップ内部のヒーターの露出がある場合は、使用せず、ヒートグリップを新品に交換してください。

- 素手での使用は行わない** ヒートグリップは非常に高温になります。そのため、素手での使用はお控えください。

- 海外生産のため、傷・目立たないシミ、製品個体差による溶接や塗装等、使用時に支障がない程度の製品につきましても不具合はございません。あらかじめご了承ください。
- 本製品に、耐熱用グリップボンドは付属していません。別途耐熱用グリップボンドをご購入ください。
- 性能が著しく低下したバッテリーの場合、製品を取り付けることによってバッテリー上がりのトラブルやヒートグリップが温まらない場合があります。
- 本製品は防滴仕様のため、通常の雨程度であれば問題なく使用できますが、完全防水ではありません。水中に落として水没させてしまった場合、電装系に不具合が生じる可能性があります。
- 保証対象は日本国内での使用のみで、海外で取り付け及び使用した場合、保証対象外となります。
- 取り付けや配線のミスにより発生した破損や不具合などは保証の対象とはなりません。また、付属品や本体の紛失に関しても保証の対象外となります。
- 株式会社山城は本製品にのみ責任を持ちます。取付工賃や修理費等といった、本製品の品質以外については、どのような事柄に関しても責任を負いかねます。

ヒートグリップの操作方法

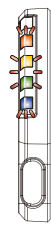
1



<電圧チェック>

- イグニッションキーをONにすると、ヒートグリップは電圧チェック機能モードとなり、LEDライトが青～赤まで全て点灯します。

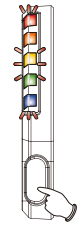
2



- その後、検出した電圧に合わせたLEDライトが3度点滅し、スタンバイモードになります。電圧に応じたLEDライトの色は下記の通りです。必要電流/電圧が確保されないバッテリーですと、それ以上のレベルでは温めることができません。

LED色	必要電流(A)	必要電圧(V)
赤	2.69A±0.5A	12.6以上
オレンジ	2.39A±0.5A	12.1~12.5
黄	2.1A±0.5A	11.6~12.0
緑	1.82A±0.5A	11.1~11.5
青	1.54A±0.5A	11未満

3



<グリップの温め>

- スタンバイモードでスイッチを1回押すと、ヒートモードになりグリップ温めをスタートします。最初はレベル5(赤)で急速発熱をし、グリップが温まります。(注)この時、手順2で確認した電圧レベル同様のレベルに、スイッチを押してレベルを合わせてください。レベルを合わせないままヒートモードを続けると、必要電流/必要電圧が確保されていないため、一旦スタンバイモードになります。

<温度レベル調整>

- その後、ボタンを1回押すごとにレベルが1つ下がりますので、必要に応じたレベルに設定してください。レベル1(青)の次はOFFとなります。OFFからもう1回押すとレベル1(青)に戻ります。このスイッチは左図のようにロータリ式です。
- レベル4、レベル5を常時使用するはお控えください。** バッテリートラブルや低温やけどを引き起こす恐れがあります。4及び5のレベルは急速発熱用としてご使用ください。

レギュレート機能について

電圧が11.5V以下になると、LEDライト(青)が10回点滅しスタンバイモードになります。

その後、5~10分ほど経ってから1回スイッチを押してください。電圧が11.6V以上に戻っている場合は、再びグリップを温めることができます。バッテリーが劣化し、弱っている場合は、新品バッテリーに交換してください。

本製品のグリップの長さについて

- 本製品は車両のグリップ長が120mm、125mmのものに対応しています。
 - 本製品のグリップ長は120mm、125mmではなく、115mmとなっていますが、スペーサーを用いることで下記のようにお使いいただけます。
- [120mmグリップ長の車両]**
 ・右側グリップ…グリップ長115mm+スペーサー5mm=120mm
 ・左側グリップ…グリップ長115mm+制御スイッチ8mm=123mm
- [125mmグリップ長の車両]**
 ・右側グリップ…グリップ長115mm+スペーサー5mm×2=125mm
 ・左側グリップ…グリップ長115mm+制御スイッチ8mm(+スペーサー5mm)=123mm(128mm)

ヒートグリップ Q&A

◆グリップが温まらない

- ①各配線のギボン・結線コネクタがしっかり接続されているか確認してください。
- ②スイッチから出ている⊖アース線(黒色)がしっかり接続されているか確認してください。アース不良では正常に機能しません。
- ③バッテリーが弱っていないか。テスター等を用いて、電圧が12V以上であるのか確認して下さい。12V以下ですと、グリップが十分に温まりません。バッテリーを新品に交換するか、充電してください。
- ④スイッチを押しても作動しない場合は、ヒューズ切れや電熱線の断線がないか確認してください。

◆左グリップと右グリップで温度差が生じる

- ①左グリップは金属製のハンドルパイプに直付けのため、樹脂製の右グリップ(スロットルグリップ)と比較すると、熱が逃げやすくなっています。
- ②汎用品のため、車両によっては温まり具合に差がある場合があります。

◆車両に応じて温まり具合が異なる

- ①車両のバッテリーの状態やヒートグリップの使用環境、電源の取り方によって温まり方が異なる可能性があります。

◆グリップの長さが115mmのショートタイプにも本商品は取り付け可能か

- ①ヒートグリップの長さは115mmです。幅5mmのスペーサーを使用

せずに取り付けると、グリップが115mmの長さのバイクにも適合します。

◆ヒートグリップを装着後、純正のグリップへ交換したい

- ①一度ハンドルバーへ装着したヒートグリップを取り外さないでください。グリップヒーター内部の電熱線を痛めてしまい、断線してしまう可能性があります。この場合、保証の対象外となり、一切の保証ができかねますのでご注意ください。

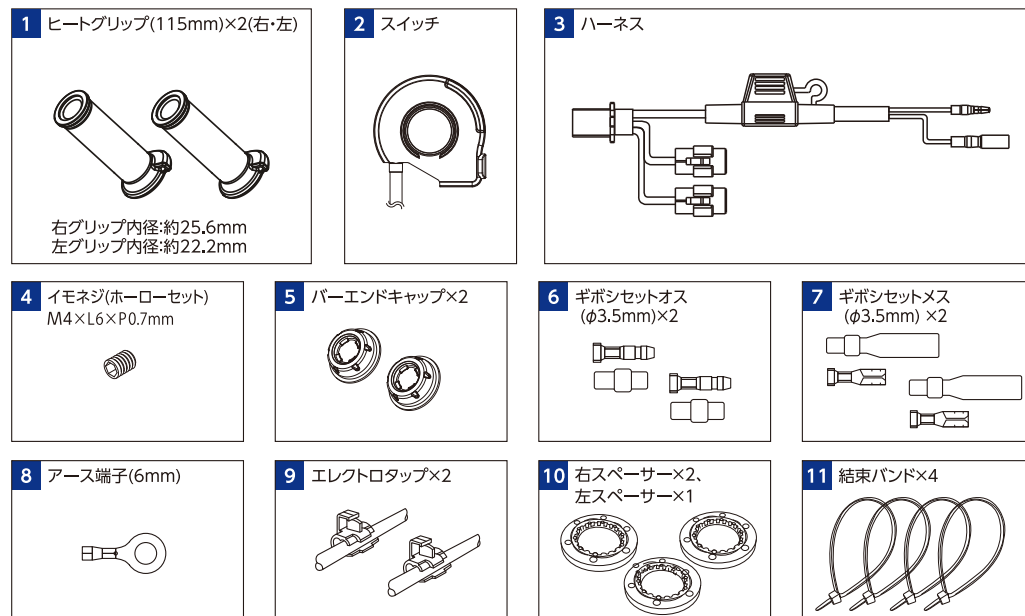
◆LEDライトが点灯しない

- ①電源コードが断線・切断されていないか、⊕プラス、⊖マイナスの配線が正しく接続されているかご確認ください。

◆保証期間はいつまでか

- ①保証期間は、ご購入後1年以内です。取扱説明書やパッケージに記載されている指示や警告、注意に反したご使用により損害が発生した場合、保証書やレシートを紛失し、ご購入店舗やご購入時期が不明な場合、不当な改造や修理、火災、塩害などの外部要因による故障・破損は保証対象外となります。また、保証対象は日本国内での使用のみです。海外で取り付け及び使用した場合、保証の対象外となりますのでご了承ください。

構成パーツ一覧



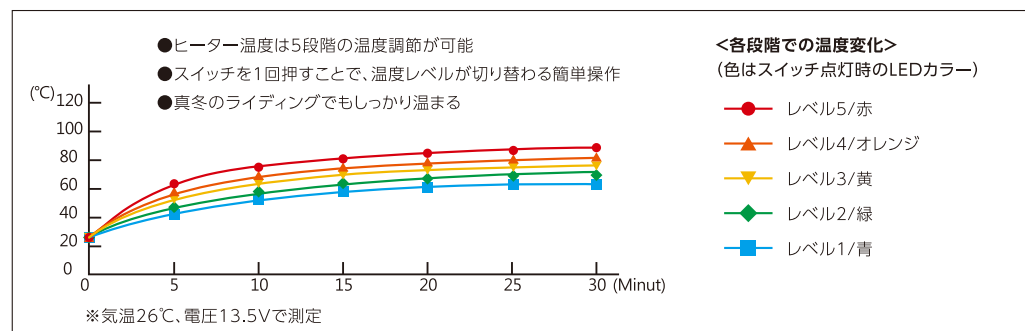
製品仕様

(スイッチサイズ)

●温度段階	レベル1(低)~レベル5(高)										
●ヒューズタイプ	4A(ASP)										
●防水規格	JIS D 0203										
●電圧	DC 12V										
●点灯時のLEDカラー	<table border="1"> <tr> <td>■ レベル5/赤</td> <td>消費電力34W</td> </tr> <tr> <td>■ レベル4/オレンジ</td> <td>30W</td> </tr> <tr> <td>■ レベル3/黄</td> <td>25W</td> </tr> <tr> <td>■ レベル2/緑</td> <td>21W</td> </tr> <tr> <td>■ レベル1/青</td> <td>17W</td> </tr> </table>	■ レベル5/赤	消費電力34W	■ レベル4/オレンジ	30W	■ レベル3/黄	25W	■ レベル2/緑	21W	■ レベル1/青	17W
■ レベル5/赤	消費電力34W										
■ レベル4/オレンジ	30W										
■ レベル3/黄	25W										
■ レベル2/緑	21W										
■ レベル1/青	17W										

※仕様は事前の告知なしに変更する場合があります。

ヒートグリップの温度変化



取り付け方法

1. 最初に通電を確認。下欄の配線図を参考に、本製品の通電確認を行ってください。スイッチ操作は、ボタンを4秒間の長押しでONになります。

2. 取り付け作業開始前に車体バッテリーの⊖マイナス端子を取り外し、絶縁テープ等を用いて絶縁してください。

3. 次に、純正のグリップを取り外します。純正グリップを取り外した後に、ハンドルバーに残った接着剤は、剥離剤などを用いて拭き取ってください。純正のスロットルスリーブに滑り止めのリブが立っているものがあります。その場合、ヤスリなどを用いて削り落としてください。

4. 左ハンドルバーに2スイッチを取り付けます。図のように付属の4 M4イモネジを用いて、固定します。
※その際に、スイッチのボタンが操作しやすい適切な位置にくるようスイッチの角度を調整してください。

5. 1ヒートグリップを左ハンドルバーへ取り付けます。内径の小さい方のヒートグリップが左ハンドルバー用です。<内径の大きい方のヒートグリップは右側(スロットル側)用です>

ヒートグリップを取り付ける際は、必ず市販の耐熱用グリップボンドを使用し、固定してください。(取り付けが難しい場合、一度、通電状態にし、5分ほどヒートグリップをレベル5で温めると、グリップが柔軟になり、取り付けやすくなります。温めた後は、再度、通電を解除してから作業を進めてください)

※耐熱用グリップボンドを使用せずに、ヒートグリップを固定し、不具合が生じた場合は、保証の対象とはなりません。

※ハンドルバーへ固定せずに長時間グリップを温めるのは絶対におやめください。

●ヒートグリップをハンドルバーへ装着する際に、強い力を加えグリップをねじ込んでハンドルバーへ装着することや、ハンマー等を用いてヒートグリップをハンドルバーへ装着することはやめてください。グリップヒーター内部の電熱線を痛めてしまい、断線してしまう可能性があります。この場合、保証の対象外になり、一切の保証ができかねますのでご注意ください。

6. 右ハンドルバーに1ヒートグリップ(内径の大きい方)を取り付けます。また、右ヒートグリップを取り付ける際は、先に10スペーサーを入れてから取り付けてください。(本ヒートグリップの長さは115mmです。バイクのグリップ長が120~125mmの場合にスペーサーを使用してください)

7. 5バーエンドキャップを取り付けます。バーエンドキャップのヘリをグリップエンド内側の溝へはめ込み、奥へ押し込んで固定します。取り付けの際は市販の接着剤をご使用ください。

バイクメーカー別純正ハーネス色

メーカー名	⊕プラス側	⊖マイナス側
ホンダ	赤/黒または黒	緑
ヤマハ	茶または茶/青	黒
スズキ	オレンジ	黒/白
カワサキ	茶	黒/黄

※上記の純正ハーネス色は参考です。車種によっては色が異なる場合があります。必ず、純正サービスマニュアルやテスターでご確認ください。

配線図

